◆令和7年度区市町村高次脳機能障害者支援促進事業実施状況一覧◆

資料2－3－2

区市町村		実施機関	支援員		支援事業の実施状況	連絡会等構成機関一覧												連絡会開催状況		相談状況 注1)		その他支援普及事業
			支援員数	職種		医療機関	行政機関	基幹相談支援センター	保健所・保健センター	相談支援事業所	就労支援機関	通所等施設関係	当事者・家族会	高齢・介護・看護	児童・教育機関	社会福祉協議会	その他	開催回数	内容	直接相談（実人数）	電話相談（延べ件数）	
1	中央区	中央区福祉保健部福祉センター	1	保健師	・講演会：年2回 ①一般区民対象：18名参加、②支援者向け（関係機関連絡会で実施）：20名参加 ・高次脳機能障害者交流会：6回 、延べ88名参加 ・個別相談：①医師専門相談年2回（7件）②交流会と同日に専門職・保健師相談17件③随時、面接や電話相談（保健師対応）438件 ・関係者連絡会：2回（事業紹介、事例検討会、情報交換等）	○	○		○		○			○					2	第1回：区内の相談支援従事者、関係者等対象に当事者による講演会を実施：20名参加 第2回：事例検討会（区内相談支援従事者、関係者等対象）：11名参加	35人	155件	・関係機関（医療機関・就労支援事業所・地域包括支援センター等）から連絡、相談、（95件） ・圏域連絡会、研修等への出席
2	港区	港区立障害保健福祉センター	6	作業療法士 言語聴覚士 精神保健福祉士 社会福祉士	・個別相談（相談員配置） ・講演相談会（区民、当事者、家族対象）、集合相談を実施 ・相談員と当事者家族がペアになり、定期相談会を月1回実施（情報提供・支援機関への紹介等） ・小児領域に特化した領域相談会を4回実施 講演相談会・定期相談会・領域相談会・交流会は、障害保健福祉センター指定管理業務として実施 ・令和7年度より、当事者や家族・支援者等が自由に話ができる交流会(年2回)		○		○			○							なし	16人	16件	・講演会：令和7年9月6日「突然、妻が倒れたら」参加者56名 ・研修会： 第1回　参加者48名　テーマ：「高次脳機能障害の回復は地域での生活が大切」 第2回　参加者27名　テーマ：「顔の見えるつながりで支える高次脳機能障害支援」 高次脳機能障害交流会【新規】 1回目：令和7年9月11日　参加者13名／2回目：令和8年2月12日　参加者11名
3	新宿区	新宿区立障害者福祉センター 高次脳機能障害者グループ「竹とんぼ」	1	作業療法士	・相談事業： 週1回（金曜10時～15時）、相談受付及び情報提供 ・機能回復訓練事業：週1回 創作活動（染め物）の当事者プログラム（金曜10時～15時） ・特別プログラム：隔月1回（金曜13時30分～15時） 区内在住の当事者に向けたプログラムの開催		○		○	○		○						3	新宿区高次脳機能障害者支援連絡会	250件	延べ17件	機能回復訓練事業（グループ訓練） ・毎週金曜日　染物を中心に手工芸を実施 ・地域出店実績 四谷ひろば（1回） センター祭（1回） 手づくりマーケットin新宿区（1回、2日間実施） ・グループ外出（1回） ・関係機関見学（1回） ・講演会（1回）
4	文京区	文京保健所予防対策課精神保健係	1	看護師	・文京区高次脳機能障害関係講演会の実施 ・情報提供 ・個別相談　（11月、令和8年1月開催）6名参加		○	○	○										なし	8人	79件	・講演会：「知っておきたい脳の機能～『見えない障害』高次脳機能障害をわかりやすく～」21名参加
5	台東区	台東保健所保健予防課精神保健担当	1	保健師	・区内在住者などからの高次脳機能障害に関する相談対応 ・高次脳機能障害に関する普及啓発、情報共有	○	○		○		○	○					警察署・民生委員・児童委員	1	台東区精神保健福祉連絡協議会 ・高次脳機能障害にかかる普及啓発の報告 ・精神保健福祉相談について／自殺予防対策について／23条通報について等	1人	25件	MTBI啓発リーフレットの活用 ・幼児用ヘルメット無償配布の通知を発送する際に同封 ・窓口に同リーフレットを置き、来所者に対して啓蒙活動を実施
6	墨田区	すみだ福祉保健センター	1	社会福祉士	・相談支援事業【月～金（9時～16時）】 本人・家族・関係機関からの相談に対し、電話・来所・訪問で対応 ・関係機関等との連携・社会資源の把握・開拓 高次脳機能障害者支援ネットワーク連絡会を1回開催（26団体29名参加） 関係機関・事業所訪問、地域ケア会議やケアマネージャー連絡会、障害者就労支援フェア等への出席 ・広報・普及啓発 SNSやホームページを27回更新 高次脳機能障害講演会を1回開催し、当事者による講演を実施 ・ピアサポート事業 家族のつどい2回、当事者のつどい2回開催 ・高次脳機能障害者グループ訓練（全43回） SSTを目的に話し合い、調理・外出訓練、・創作活動、工芸作品制作、新聞づくり等	○	○		○				○					1	令和8年1月28日　高次脳機能障害者支援ネットワーク連絡会（区内の行政、地域包括、医療機関、就労関係機事業所等26団体29名が参加） ・新規事業の説明や連携促進を目的とした情報交換	143件（実人数55人）	218件	・関係機関等との連携・社会資源の把握・開拓 関係機関・事業所への訪問や、地域ケア会議、ケアマネジャー連絡会、障害者就労支援フェア等に出席 ・広報・普及啓発 SNSやホームページを27回更新 高次脳機能障害講演会を1回実施（参加者41名）、当事者・ルポライターによる講演 ・ピアサポート事業（全4回・参加者は合計38名） 内訳：家族のつどいが第1回8名、第2回10名、当事者のつどいが第1回7名、第2回13名 ・高次脳機能障害者グループ訓練（毎週水曜日の午後に固定メンバー4～5名で計43回） SSTを目的として話し合い、調理・外出訓練、創作活動、工芸作品制作、新聞づくり等等を実施
7	江東区	江東区障害者福祉センター	4	事務	・相談事業 ・専門相談（毎月1回） ・家族交流会事業（毎月1回） ・リハビリ事業（言語聴覚士によるグループ訓練、毎月2回） ・講演会事業（年2回） ・関係施設等支援促進連絡会（年3回）	○	○		○			○	○					3	・前年度実績報告 ・今年度事業予定及び意見交換 ・各事業所紹介、当事者への支援について ・介護保険との連携について ・相談シートの内容について ・事例検討 ・リハビリ報告書の読み方について	25人	37件	・リハビリ事業（失語グループ、注意・記憶グループ、それぞれ月2回） ・当事者、家族交流会事業（月1回）. ・講演会事業（リハビリ報告書ってこう読む！～知って安心・使えて便利な支援のコツ～、高次脳機能障害のある方がはたらくまでの道のり）実施 ・江東区障害者福祉センターホームページに事業紹介を掲載 ・区市町村高次脳機能障害者相談支援員連絡会参加 ・区東部圏域高次脳機能障害者支援連絡会参加 ・区東部圏域高次脳機能障害者支援促進事業症例検討会 ・江戸川区高次脳機能障害者支援事業ネットワーク会議参加 ・東京都リハビリテーション病院実施研修会等参加

※　本資料は、東京都に提出された令和7年度高次脳機能障害者支援促進事業実績報告書の記載内容をまとめたものです。
注1）　相談状況は、各自治体の報告書の記載どおりに掲載

◆令和7年度区市町村高次脳機能障害者支援促進事業実施状況一覧◆

区市町村		実施機関	支援員		支援事業の実施状況	連絡会等構成機関一覧												連絡会開催状況		相談状況注1）		その他支援普及事業
			支援員数	職種		医療機関	行政機関	基幹相談支援センター	保健所・保健センター	相談支援事業所	就労支援機関	通所等施設関係	当事者・家族会	高齢・介護・看護	児童・教育機関	社会福祉協議会	その他	開催回数	内容	直接相談（実人数）	電話相談（延べ件数）	
8	品川区	品川区旗の台障害児者相談支援センター	2	作業療法士	・相談支援（当事者、家族対象） ・関係機関との連携 ・広報・普及啓発：区民、関係機関への広報・周知 ・支援者養成講習：基礎知識の理解、当事者支援手法の習得	○	○		○	○								1	区内の障害福祉サービス事業者向けの事業所連絡会において、「発達障害と高次脳機能障害について」の講義を実施	11人	8件	高次脳機能障害者啓発講座開催 ・2回（3日間コース）参加者13名※延べ（昼16名、夜15名） ・機能訓練終了時（復職する利用者を通じて）、「高次脳機能障害専用相談」の周知チラシを職場に配布 ・企業での研修実施を想定した「高次脳機能障害の基礎知識」の講義用資料作成
9	目黒区	目黒区高次脳機能障害者支援センター	1	作業療法士	・相談：2,029件 ・研修会：第18回目黒区高次脳機能障害者支援セミナー開催。143名の申込み（医療機関・地域関係機関67%、当事者・家族・一般33%） ・目黒区高次脳機能障害者支援連絡会：区内関係機関、区内及び近隣医療機関等31機関参加　前半は、目黒区高次脳機能障害者支援センターの取り組みについての報告、後半は、複数の関係機関との連携について意見交換 ・めぐろ高次脳機能障害者サポーター養成研修：目黒区医師会所属の各機関及び区内訪問看護事業所向けに開催	○	○		○	○	○	○		○				1	①目黒区高次脳機能障害者支援センター・高次脳機能障害に関する関係機関からの報告 ②意見交換会 （退院後の生活・就労支援等で必要とされる『複数の機関との連携』について）	直接相談延べ941件　電話相談（91人）	1088件	・連絡会　1回　31機関参加 内容：目黒区高次脳機能障害者支援センター及び高次脳機能障害に関する関係機関からの報告、小グループに分かれて意見交換会を実施 ・支援セミナー　1回（オンライン開催：1月20日～2月9日）申込み143人 内容：e-ラーニングによるオンライン開催、「高次脳機能障害の気づきに向けたグループ訓練」をテーマに、リハビリテーションの流れ、支援のポイントについて講義を実施 ・サポーター養成研修　1回（オンライン開催：11月28日～12月19日）申込み18名 内容：目黒区医師会の各機関及び区内訪問看護事業所を対象に実施し、障害特性、日常生活上の影響、活用できる制度・サービス、高次脳機能障害の基礎知識やサポーターに期待される支援等について、スライドや動画を用いて説明。研修修了者には修了証とサポーター認定缶バッジを配布。
10	大田区	志茂田福祉センター 障がい者総合サポートセンター	2	福祉	【広報・啓発活動】 ・高次脳機能障がいについての出前講座の実施 大田区生活福祉課2回、就労支援情報説明会1回 ・講演会の開催 高次脳機能障がいセミナー（支援者向け）：区内の医療・福祉・介護等の関係事業所、当事者や家族を対象に高次脳機能障がいの基礎に関する講座を実施。 ・広報用の高次脳機能障がいリーフレットの配布（支援機関・家族会等） ・高次脳機能障がい者家族のための冊子の配布 【高次脳機能障がい者対象のプログラムの実施】 ・志茂田福祉センター：生活課題改善プログラム（作業療法士により毎月2回） ・障がい者総合サポートセンター：高次脳機能障害者プログラム（作業療法士等により実施、2施設で延べ200名）	○	○			○	○	○	○			○	（東京工科大学リハビリテーション学科）学識経験者	2	大田区の支援事業報告、区内関係機関の情報交換、ミニ学習会等 第1回：8月7日オンライン開催 第2回：12月10日集合型開催	116件	544件	・荏原病院を中核とする区南部圏域高次脳機能障害普及支援事業と症例報告等への参加および症例報告等の参加 ・高次脳機能障害家族会活動への参加、周知等の協力

※　本資料は、東京都に提出された令和7年度高次脳機能障害者支援促進事業実績報告書の記載内容をまとめたものです。
注1）　相談状況は、各自治体の報告書の記載どおりに掲載

◆令和7年度区市町村高次脳機能障害者支援促進事業実施状況一覧◆

区市町村		実施機関	支援員		支援事業の実施状況	連絡会等構成機関一覧												連絡会開催状況		相談状況注1)		その他支援普及事業
			支援員数	職種		医療機関	行政機関	基幹相談支援センター	保健所・保健センター	相談支援事業所	就労支援機関	通所等施設関係	当事者・家族会	高齢・介護・看護	児童・教育機関	社会福祉協議会	その他	開催回数	内容	直接相談（実人数）	電話相談（延べ件数）	
11	世田谷区	社会福祉法人世田谷ボランティア協会ケアセンターふらっと	1	相談員	2025年は、上半期の相談ケースが48人（男性34人、女性14人）に加えて、下半期の相談ケースは29人（男性19人、女性10人）となり、年間の相談者数は77人（男性53人、女性24人）。 切れ目のない相談支援を実施する上では、以下の点から、相談支援期間の長期化と支援内容の拡大が特徴 ① 回復期病棟入院中からの相談については、退院後の地域生活の再開に向けて、福祉サービス利用に向けた情報提供から、手続き同行、施設見学、利用に向けた関係機関との調整などの伴走型の支援が求められている。 ② 円滑な福祉サービス利用につなげていくため、同一相談員が高次脳機能障害相談から計画相談に継続して役割を移行するケースが増えている。 ③ 福祉サービス利用や復職を経て、生活の安定により相談支援の頻度は減っていくが、本人・家族・関係者から広範な相談があるため、適時、関係機関との連携が必要となっている。	○	○		○									122	①高次脳機能障害の評価に基づき、今後の支援プログラムや福祉サービスの利用について、ご本人・ご家族・関係者と協議 ②退院後の在宅生活に向けて、住宅改修や福祉用具の手配など個別支援を実施 ③入院中カンファレンスに参加し、退院後のリハビリテーション方法を協議 （初台リハビリテーション病院9回、日産厚生玉川病院8回、東京リハビリテーションセンター世田谷19回、世田谷区立保健センター専門相談課17回、その他69回）	77人（上半期48人、下半期29人）	約400件（上半期200件、下半期200件）	1．高次脳機能障害支援普及事業（主催：東京都心身障害者福祉センター） ① 令和七年度第一回高次脳機能障害者相談支援研修会 ②令和七年度区市町村高次脳機能障害者相談支援連絡会（2回） ③ 令和七年度就労準備講習会特別版「失語症者、右半身麻痺として、働くこと」 ④ 令和七年度小児の高次脳機能障害に関する研修会について ・参加、情報提供、グループ・ワークのファシリテーター 2．区西南部高次脳機能障害者支援普及事業専門的リハビリテーションの充実（主催：日産厚生会玉川病院） ① 講演会「脳損傷者（高次脳機能障害）の方の自動車運転の再開について」 ② 症例検討会「社会参加へ向けた支援について～病院・地域の視点から」 ・登壇し支援経過などを報告 ③ 講演会 「隠れた障害、見えない障害、その心は？～失語症当事者の体験を通して～」 ・事前打ち合わせ、当事者と登壇 ④ 令和七年度高次脳機能障害支援普及事業圏域連絡会（2回） 3．令和七年度東京都高次脳機能障害支援養成研修（主催：東京都） ① 研修（基礎編・実践編）に参加 ② 各研修のグループ・ワークのファシリテーターを担当 4．世田谷区高次脳機能障害者関係施設連絡会 （主催：世田谷区保健センター専門相談課　共催：世田谷ボランティア協会） ・高次脳機能障害者相談支援実績の報告 5．当事者会支援など ・「前例のない高次脳機能障害アンケート調査」の作成支援 （高次脳機能障害自助グループ「りんごの木」） ・「春の音コンサート2026」 （主催：世田谷高次脳機能障害連絡協議会）
		公益財団法人世田谷区保健センター	1	作業療法士	1．相談支援 ・専門職が当事者・家族・支援機関からの相談に応じ、評価・助言・情報提供を実施。必要に応じてリハビリ施設・就労支援施設の見学同行、医療受診同行、行政手続き支援を実施 ・梅ヶ丘拠点として、東京リハビリテーションセンター世田谷と連携し、月1回の事例研修やケース会議を実施 ・当事者・家族向けに年3回の交流会を開催 2．関係機関連携 地域生活移行支援のため、区内外18医療機関を訪問し連携を強化 東京リハビリテーションセンター世田谷やケアセンター「ふらっと」と連携し、中核相談窓口として機能を推進 区内関係機関の連絡会を共催（令和8年1月29日） 3．社会資源の把握・開拓 個別支援を通じて活用可能な資源を開拓。連絡会により情報収集・共有を実施 4．広報・普及啓発 区民向け講演会・相談会を実施（相談会14名、講演会55名） 支援者向け研修・講師派遣を計8回実施（地域包括支援センター、基幹相談支援センター、区主催研修など） 障害者週間での啓発、リーフレット作成、案内表示などにより保健センター事業の認知度向上を図った	○	○	○	○	○	○		○					1	① 区市町村高次脳機能障害者支援普及 事業について（東京都心身障害者福祉センターより事業説明） ② 世田谷区における高次脳機能障害者支援について（世田谷区障害福祉部より世田谷 区の取り組みの説明） ③ 高次脳機能障害者相談支援実績報告 （ケアセンターふらっと、保健センターより令和7年度上半期実績報告） ④ グループディスカッション （各支援機関より、ケースワークする中での課題の共有と必要な支援について議論）	100人	1186件	○ 関係機関主催の会議出席 ・区市町村高次脳機能障害者支援促進事業支援員連絡会 （令和7年6月26 日、12月18 日） 主催：東京都心身障害者福祉センター ・区西南部高次脳機能障害支援普及事業 （令和7年6月24 日、11月19日、令和8年2月18日） 主催：日産厚生会玉川病院 ○ 当事者・家族会の活動支援 ・『世田谷高次脳機能障害連絡協議会』及び『高次脳機能障害者と家族の会』、『当事者グループなどの地域活動団体』の活動支援 （令和8年2月22日 春の音コンサートの共同開催） ○ 地域の支援者会議への参加 ○ 区及び関係機関の要請による研修講師・講演 ○ 東京都高次脳機能障害支援養成研修ファシリテーター ○ 各種専門研修への参加
12	渋谷区	基幹相談支援センター	1	言語聴覚士	・専門相談窓口（区民、支援者の支援のため）：週4日開所 ・関係機関連絡会を2回開催（5月、11月） ・講演会（3回目）を開催（区民他支援者60名参加） ・支援者向け勉強会を開催 ・（令和6年度より開始）就労継続支援B型事業所への支援研修プログラムの取組の継続 ・事業所訪問や事業者向けの勉強会	○	○	○		○	○	○		○				2	【1回目5月】 ・令和6年度事業振り返り、専門相談報告 ・令和7年度事業計画 ・事例報告 【2回目11月】 ・令和7年度上半期専門相談報告 ・講演会、就労継続支援B型事業所への事業所訪問報告 ・事例報告 ・家族会からの活動報告	46人	373件	・講演会（令和7年6月21日）集会形式 高次脳機能障がいについての基礎知識、当事者やご家族の気持ち、必要な支援についての事例紹介 対象：区内在住・在勤・在学者 ・勉強会（令和8年1月23日）集会形式 当事者講師による高次脳機能障害の支援方法についてグループディスカッション形式にて検討 対象：高次脳機能障害者区民に携わる支援者 ・専門相談リーフレット配布 区内関係機関や区役所内イベント（障がい者週間）に併せて配布 ・家族会の支援 専門相談員が参加し、最近の相談傾向の報告や家族会での相談対応 ・民生委員や就労継続支援B型事業所職員等、対象者を限定した勉強会を開催

※ 本資料は、東京都に提出された令和7年度高次脳機能障害者支援促進事業実績報告書の記載内容をまとめたものです。
注1） 相談状況は、各自治体の報告書の記載どおりに掲載

◆令和7年度区市町村高次脳機能障害者支援促進事業実施状況一覧◆

区市町村		実施機関	支援員		支援事業の実施状況	連絡会等構成機関一覧												連絡会開催状況		相談状況注1）		その他支援普及事業
			支援員数	職種		医療機関	行政機関	基幹相談支援センター	保健所・保健センター	相談支援事業所	就労支援機関	通所等施設関係	当事者・家族会	高齢・介護・看護	児童・教育機関	社会福祉協議会	その他	開催回数	内容	直接相談（実人数）	電話相談（延べ件数）	
13	中野区	中野区障害者地域自立生活支援センター	1	臨床心理士	【相談支援】 ・専門相談（当事者・家族対象） ・当センター内一般スタッフに対する助言、指導 ・当事者のグループリハビリの運営（月1回程度） ・家族会への参加・支援 ・毎週火曜日に「総合相談」日を設け、初回相談を集中して受ける体制を整備 【関係機関との連携と社会資源の開拓】 ・基幹型相談支援センターと連携し、家族会や当事者グループを拡充 ・中野区高次脳機能障害関係機関連絡会を開催（年1回）し、すこやか福祉センターや地域包括支援センター、医療機関、就労施設等との連携で支援ネットワークを拡大 【広報・普及活動】 ・高次脳機能障害普及啓発セミナー開催（年1回） ・広報紙「テネーロ」を毎月1回発行	○	○	○		○	○	○						1	話題提供 つむぎでの取り組み等を報告後意見交換 【主な内容】 1　専門相談は月8枠に増やして対応 2　中野区役所新庁舎内で高次脳機能障害出張相談会を実施 3　専用相談は月2回、相談がいつくるかわからない。相談室を持っておらず対応に苦慮 4　今年度は就労相談・支援が多く、職場同行をおこなっている 5　退院前カンファレンスに参加し、退院後に向けた支援をおこなった	291人	123件	・当事者支援　専門相談後のフォロー ・高次脳グループリハビリ（言語聴覚士が発声や認知を中心に実施）、家族会の開催（家族が参加しやすいように毎月1回同日同時刻に開催）、下半期にスタッフの変更 ・高次脳機能障害支援普及事業の各種研修・連絡会等に参加、慶應義塾大学病院にて開催される圏域連絡会や研修に参加 ・介護保険との連携・地域ケア会議への参加要請や、地域包括ケアセンター等への助言 ・学生への対応、学校訪問、先生への助言等支援を実施 ・高次脳機能障害理解促進セミナー開催（年2回） 9月17日「事例検討」（参加者 24名） 令和8年1月30日「高次脳機能障害の基礎理解と対応」（参加者18名）
14	杉並区	杉並区保健福祉部障害者施設支援課 地域生活支援係	1	作業療法士・社会福祉士・精神保健福祉士	・専門相談：週5日（月曜日～金曜日） ・支援セミナー（講演会）：年3回開催 ・関係機関連絡会：年2回開催 ・民間事業所等との担当者会議の開催や技術支援	○	○		○	○	○	○	○	○				2	第1回（6月25日）委員17名・委員以外7名参加 ・今年度の連絡会運営について ・各機関紹介及び自己紹介 ・自己紹介及び各機関の紹介 ・令和6年度地域生活支援係の事業実績について報告・意見交換 第2回(令和8年2月25日)委員16名・委員以外2名参加 ・自己紹介及び各機関の紹介 ・今年度取組報告 ・東京都高次脳機能障害者相談支援員連絡会について報告 ・障害者基礎調査（地域生活に関する調査）について ・高次脳機能障害者支援法の公付について ・意見交換～それぞれの立場でできることの提案など～ ①若年層の対応について関係機関の連携の重要性について ②就労支援の場の生活支援の難しさについて	107名（関係機関からの相談人数を合わせると163人）	1991件	・高次脳機能障害者交流サロン「杉ハイ」の開催12回、参加者総計110名 ・高次脳機能障害者支援セミナーの開催年2回 1回目（10月18日、参加者38名） 内容：高次脳機能障害に関する全般的な説明と、医療機関との付き合い方について講義及び参加者とディスカッション 2回目（令和8年3月8日、参加者33名） 内容：高次脳機能障害に関する説明、講師より体験談 ・高次脳機能障害支援者セミナーの開催（12月3日、参加者12名） テーマ：高次脳機能障害者と防災について ・家族交流会の実施　3回開催（第2回より、「家族相談会」に名称変更） ・失語症者向け意思疎通支援事業 「失語症サロン」毎月第4金曜日／定員10名 当事者の登録数：17名、意思疎通支援者登録者数：27名（各回10名に依頼） 団体派遣（令和7年9月開始）　3団体登録、個人派遣（令和8年1月開始） ・自立支援協議会相談支援部会への参加 ・地域包括支援センター、勉強会・地域ケア会議への参加
15	豊島区	豊島区福祉部障害者福祉課 豊島区立心身障害者福祉センター	1	作業療法士	・相談事業：随時相談（月～金）、専門相談（毎月第4月曜日） ・広報・啓発事業：講演会・出前講座 ・関係機関連絡会（年2回）開催 ・生活期リハビリ支援事業（モデル事業） ・地域活動支援事業　サロン ・家族交流会	○	○		○	○	○	○		○	○	○		2	第1回：令和7年7月16日（17名参加） ・ R6年度実績報告、R7年度事業予定 ・ R6,7年度区市町村支援員連絡会の情報伝達 ・参加機関同士の情報交換 第2回：令和8年2月2日（30名参加） ・区市町村支援員連絡会の情報伝達 ・事例検討（グループワーク）	一般相談346件（53人） 専門相談24件（16人）	241件	1．講演会 ・10月17日 参加対象：区内在住在勤の当事者・家族・支援者 参加者　：27名 高次脳機能障害～地域とつながる、家族を支える～ ・令和8年2月2日 参加対象：区内関係機関 参加者　：30名 ミニ講座「就労支援」 2．周知啓発 ・図書館展示：テーマ「高次脳機能障害・権利擁護」周知パネルと関連図書の展示・貸し出し（期間：12月1日～12月26日） ・区広報誌やホームページへの周知記事の掲載 3．家族支援事業　11月29日家族交流会開催　　参加者：家族10名、当事者6名 4．出前講座　令和8年1月9日 としま区民後見人養成講座「高次脳機能障害の理解と制度」 参加者：12名

※　本資料は、東京都に提出された令和7年度高次脳機能障害者支援促進事業実績報告書の記載内容をまとめたものです。
注1）　相談状況は、各自治体の報告書の記載どおりに掲載

◆令和7年度区市町村高次脳機能障害者支援促進事業実施状況一覧◆

区市町村		実施機関	支援員		支援事業の実施状況	連絡会等構成機関一覧												連絡会開催状況		相談状況 注1)		その他支援普及事業
			支援員数	職種		医療機関	行政機関	基幹相談支援センター	保健所・保健センター	相談支援事業所	就労支援機関	通所等施設関係	当事者・家族会	高齢・介護・看護	児童・教育機関	社会福祉協議会	その他	開催回数	内容	直接相談（実人数）	電話相談（延べ件数）	
16	北区	北区福祉部障害者福祉センター事業係	5	保健師 福祉	1　生活就労訓練（言語・作業）　年148回 2　判定会議（医師）　年4回 3　高次脳機能障害専門医個別相談　年5回 4　高次脳機能障害講演会（区民向け）年1回 5　講演会「子どもの高次脳機能障害」年1回 6　専門相談・公認心理師　年6回 7　子どもの高次脳機能障害相談（公認心理師等）年2回 8　当事者会（OB等）支援（OT等）　年10回 9　当事者・家族支援（音楽療法士）年1回 10　家族支援（公認心理師）　年7回 11　脳の健康維持プログラム　年6回 （歯科衛生士：2、管理栄養士&作業療法士：2、運動指導員：2）	○	○	○		○	○	○		○			専修大学人間科学部教授（アドバイザー）			専門相談年6回（実12件延21名）訓練・来所相談等（実78件）	367件	1．子どもの高次脳機能障害講演会・個別相談会　参加者：10名（従事務職員5名）計15名（相談者：1件） ・講演会 テーマ：「子どもの高次脳機能障害の理解と対応～ご本人とご家族を支える支援～」 ・個別相談会 内　容：「子どもの高次脳機能障害についての個別相談」 内　容：「子どもの高次脳機能障害家族会ピア相談」 2．就労準備講習会 「就労移行支援事業所を利用して感じた変化」(ｲﾝﾀﾋﾞｭｰ方式) 機能訓練終了後、就労移行支援利用開始から1年が経ち感じた変化、現在就労移行事業所で取り組んでいること、今後の目標について 3．高次脳機能障害者交流会（音楽療法講演会）参加者：10名（従事職員5名）計15名 テーマ：高次脳機能障害交流会 内　容：「高次脳機能訓練障害の方とその家族を対象とした音楽を利用したリハビリテーションと交流支援」 4．高次脳機能障害講演会（一般区民向け）参加者：24名（従事職員7名）　計31名 テーマ：「高次脳機能障害の理解と回復への道筋」
17	荒川区	荒川区立心身障害者福祉センター	1	社会福祉士	・社会生活リハビリ（グループワーク） ・相談事業：土日・祝日・年末年始を除く毎日 ・当事者・家族・関係機関向け啓発活動（講演会及びセミナー開催） ・関係機関とのネットワーク作り	○	○		○		○	○			○	○		1	区東北部地域リハビリテーション協議会 令和8年3/11オンライン開催。各関係機関の現状及び課題等について情報交換等	12人	31件	・高次脳機能障がい講演会：1回（参加者61名） 表題：「高次脳機能障がい」って、実はこんなことだった！～医師が解説する基礎知識と対応～ ・障がい者地域自立生活支援セミナー：4回実施 参加者79名
18	板橋区	板橋区立障がい者福祉センター	1	社会福祉士 主任生活支援員	区市町村高次脳機能障害者支援促進事業を受け地域自立支援協議会等へ参加し、地域の課題把握及び地域支援力を高めるため、以下の事業を実施 ・問合わせのあった当事者・家族への個別相談支援の実施や、医療機関からの問合わせに対する情報提供、区内の家族会やピアカウンセリング事業紹介(基本相談支援) ・医療機関、就労支援等の障がい者施設、当事者・家族会、介護支援専門員等との連携を目的に、板橋区地域自立支援協議会高次脳機能障がい部会、準備会、およびイベントに参加 ・高次脳機能障がいセミナーを開催、また機会を捉え、あるごとに普及啓発活動を実施 ・地域活動支援センター事業にて機能訓練(OT・PT・ST)を実施(介護保険認定者は介護保険優先ではあるが、利用できる場合あり)	○	○			○	○	○	○	○			権利擁護いたばしサポートセンター	3	令和7年度板橋区地域自立支援協議会高次脳機能障がい部会として開催 ①第1回（6/27） ・令和6年度（第9期）部会報告、令和7年度（第10期）活動予定。各事業所・機関による支援状況報告等 ②第2回（10/6） ・第1回部会報告、課題の共有。今年度高次脳機能障がい者・家族支援交流会の内容検討等 ③第3回（令和8年2/27） 高次脳機能障がい者・家族支援交流会の反省。高次脳機能障害者支援法の概要について。事例報告。今年度の成果・次年度の課題について ④高次脳機能障がい部会「高次脳機能障がい者・家族支援交流会」(12/20) （第1部）講演会　希望への扉を開こう～高次脳機能障がい者の自己実現 （第2部）部会準備会　部会開催に合わせ、準備会を3回開催（5/26、8/22、12/1）	26名	145件	・令和7年度高次脳機能障がいセミナーの主催（参加者23名） 講義「作業活動と生きがいについて～地域リハビリテーションの視点から～」 ・失語症若者の会「スイスイの会」への参加 障がい者福祉センター所属の言語聴覚士が、他の言語聴覚士と共同で参加（月1回、日曜日） 障がい者福祉センター内で、言語聴覚士と会話パートナーによるコミュニケーションサロン「カヤリア会」を開催 対象：失語症当事者および家族・関係者、毎月第1木曜日午前 ・高次脳クラウドコミュニティーへの参加 自立支援協議会高次脳機能障がい部会長の提唱によるオンライン会議。地域の支援者（家族・保健師・ケアマネジャー等）の事前の課題を踏まえ、オンライン参加で短時間のうちに課題解決の方向等を検討し、課題解消方法やヒントを出す仕組み。専門職含め参加。令和7年度は実績なし [その他] ・区市町村高次脳機能障害者支援促進事業支援員連絡会への参加 ・区西北部高次脳機能障害支援普及事業圏域連絡会への参加 ・区市町村高次脳機能障害者相談支援員連絡会への参加
19	練馬区	練馬区立心身障害者福祉センター	3	相談員 医師	1．相談等事業 随時相談（月～金） 土曜相談日（毎月第3土曜日） 医師専門相談（毎月第1、3金曜日） 2．自立訓練通所事業利用者検討会議原則毎月1回 ※ 7回/12回を書面開催とした 3．講演会（区民向け）年1回 4．練馬区高次脳機能障害者支援協議会年2回 ※うち1回は、事例検討会を開催 5．自立訓練、地域活動支援センター事業、交流室の利用可能な事業の促進	○	○		○			○	○	○		○	高次脳機能障害者支援ホーム	2	区担当者、医療機関、入所・通所施設、ボランティアセンター、介護保険事業所等と連携し、高次脳機能障害者への対応事例や訓練事業の紹介、情報交換を実施	20件	70件	1．練馬区中途障害者支援事業〈家族・地域支援事業〉講演会　12月13日 参加者：28名 「高次脳機能障害～目に見えない障害を知る～」 2．練馬区高次脳機能障害者支援協議会 (1) 総会　7月18日　前年度報告、本年度予定、情報交換等 (2) 支援事例検討会　令和8年3月6日　参加者：24名 「高次脳機能障害のある40代男性が廃用で生活機能が低下した後の生活の再構築」 ・市区町村高次脳機能障害者相談支援員連絡会（6月26日，12月18日） ・区西北部高次脳機能障害支援普及事業圏域連絡会（6月17日） ・区西北部高次脳機能障害支援普及事業連絡会・情報交換会（令和8年2月2日） ・区西北部地域リハビリテーション・高次脳機能障害支援普及事業協議会（令和8年3月19日）オンライン参加

※　本資料は、東京都に提出された令和7年度高次脳機能障害者支援促進事業実績報告書の記載内容をまとめたものです。
注1）　相談状況は、各自治体の報告書の記載どおりに掲載

◆令和7年度区市町村高次脳機能障害者支援促進事業実施状況一覧◆

区市町村		実施機関	支援員		支援事業の実施状況	連絡会等構成機関一覧												連絡会開催状況		相談状況注1)		その他支援普及事業
			支援員数	職種		医療機関	行政機関	基幹相談支援センター	保健所・保健センター	相談支援事業所	就労支援機関	通所等施設関係	当事者・家族会	高齢・介護・看護	児童・教育機関	社会福祉協議会	その他	開催回数	内容	直接相談（実人数）	電話相談（延べ件数）	
20	足立区	足立区障がい福祉センター	2	作業療法士 福祉	1　相談支援 (1)足立区障がい福祉センター ア自立生活支援係：障がい者ケアマネジメントの実施・専門職による個別専門相談・評価 イ就労促進訓練係：専門職による評価、就労プログラムの提供、定着支援 ウ社会リハビリテーション係：高次脳機能障がいと診断された方の作業療法、言語療法、集団訓練、復職支援など (2) さくら会：相談支援の実施 2 セミナー (1) 失語症セミナーの実施　参加者８名 (2) 交流・勉強会の開催 ・当事者家族交流会（7月27日）：リジョイスハーモニーのメンバーを迎え、コンサートを楽しみながら交流（参加者20名） ・当事者家族交流会（10月５日）：就労している当事者の話を聞く交流会（参加者6名） ・相談（個別も兼ねた）勉強会（11月15日）：　参加者10名 (3) 高次脳サポーター育成研修の開催（5日間）　高次脳機能障害や失語症の方に対する支援方法を学び理解者を増やすことを目的　受講者8名	○	○				○	○	○				11	(1) 運営委員会（8回） ・運営委員紹介 ・今年度の予定について ・情報共有 ・ネットワークの役割分担・準備・反省 ・次年度に向けて (2) ネットワーク（3回） 第１回（6月19日）　困っていることの共有（22名参加） 第2回（10月25日）区民向けセミナー「楽しい日常生活を送るための理解とサポート」（43名参加） 第3回（令和8年1月15日）事例検討会（16名参加）	〔自立生活支援係299件〕 新規56件 再来173件 〔就労促進訓練係〕 登録者101名 相談674件 〔社会リハビリテーション係40件〕 新規相談22件 通所者18名 〔NPO法人足立さくら会〕 新規実人数　25件 継続実人数　55件 延べ相談件数　197件		・相談だより（通信） ・SNSを活用しての普及啓発 ・問い合わせのあった病院にさくら会と足立区のパンフレット送付 ・家族・当事者交流会
21	葛飾区	葛飾区地域活動支援センター	1	心理発達専門員	・高次脳機能障害者デイサービス：月・火・水 定員各10名 ・言語デイサービス：火・木 定員各10名 ・高次脳機能障害者家族会支援：定例会年6回 ・家族会ミニデイサービス：毎月第3土曜日 ・失語症の会：第2土曜日（6月、9月、12月、令和8年3月）実施 ・高次脳機能障害講演会(10月12日)参加者16名 ・失語症サポーター養成講座（9月13日）参加者4名 ・高次脳機能障害者支援機関連絡会 講演会(7月16日)参加者37名、事例検討会(令和8年1月21日）参加者7名 ・失語症講演会（10/5）参加者21名	○	○		○	○	○	○		○				2	第１回（7月16日） 講演会「高次脳機能障害と共に歩む～リハビリテーションを中心に」講師：いずみ記念病院医師 参加者：37名 第2回（令和8年1月21日） 事例検討会　講師：いずみ記念病院医師 参加者：7名	6件	75件	・高次脳機能障害者講演会（10月12日） 参加者：16名 ・失語症サポーター養成講座(9月13日） 参加者：4名 ・失語症講演会（10月５日）　　参加者：21名
22	江戸川区	NPO法人東京ソテリア 地域活動支援センターはるえ野	2	看護師 作業療法士	・専門相談会(年12回) ・随時相談 ・集団訓練(認知機能回、就労支援回) ・ネットワーク会議(3回) ・家族相談会(年6回) ・社会資源の把握及び開拓 ・普及啓発（高次脳機能障害について広く区民に広報） ・講演会 ・支援拠点機関(東京都心身障害者福祉センター)及び地域拠点機関（東京リハビリ病院）との連携 ・ピアサポーターの育成	○	○				○	○	○	○				3	ネットワーク会議 ・事例報告、事例検討、当事者・関係者からの報告、意見交流等	42人	572件	【普及啓発事業】（12月７日）参加者221名 目的：より多くの人に高次脳機能障害者に対する理解を深める 内容：講演会等『高次脳機能障害と共に生きる歓びの音楽』 ・専門職講演 ・当事者講演 ・専門職と当事者のトークセッション

※　本資料は、東京都に提出された令和7年度高次脳機能障害者支援促進事業実績報告書の記載内容をまとめたものです。
注1）　相談状況は、各自治体の報告書の記載どおりに掲載

◆令和7年度区市町村高次脳機能障害者支援促進事業実施状況一覧◆

区市町村		実施機関	支援員		支援事業の実施状況	連絡会等構成機関一覧												連絡会開催状況		相談状況注1）		その他支援普及事業
			支援員数	職種		医療機関	行政機関	基幹相談支援センター	保健所・保健センター	相談支援事業所	就労支援機関	通所等施設関係	当事者・家族会	高齢・介護・看護	児童・教育機関	社会福祉協議会	その他	開催回数	内容	直接相談（実人数）	電話相談（延べ件数）	
23	八王子市	八王子市高次脳機能障害者相談室はっぱ（医療法人社団永生会 法人本部 連携・地域支援事業部）	2	言語聴覚士 作業療法士	支援員2名配置 相談対応：月～土（9:00～17:00）	○	○			○	○		○	○				2	事業紹介 昨年度の支援実績 支援事例紹介（第2号被保険者） 失語症者向け意思疎通支援について 各機関からの報告	98名（延べ206件）	643件	1）社会資源の把握・開拓 南多摩高次脳機能障害支援施設マップ第4版 資源調査 2）家族交流支援 八王子市当事者家族会への運営協力 10回 3）広報普及啓発 講演会開催（家族会共催）9月21日 ホームページ更新 4）集団リハビリテーションの提供 毎週土曜日実施
24	武蔵野市	社会福祉法人 武蔵野 武蔵野市障害者福祉センター 高次脳機能障害相談室 ゆいっと	1	言語聴覚士	・相談事業 支援員による電話相談、面談、訪問など 5日/週 ・障害者福祉センター嘱託リハビリテーション医による相談 1回/月 ・当事者のフリーサロンの開催（土曜サロンを含む） 2回/月 ・関係機関連絡会の開催 2回/年 ・関係機関連絡会運営委員会の開催4回/年	○		○		○	○	○						2	第1回（内容）講演 「私の考える高次脳機能障害～地域で生活を送るまでの道のりを交えて～」参加者：80名 第2回(内容）事例検討 「困りごとは、高次脳機能障害？発達障害？それともメンタル？」参加者：51名	相談実人数61名面接・訪問延べ人数474名（サロン参加者含む）	1242件	・東京都高次脳機能障害支援普及事業北多摩南部医療圏域連絡会 ①6市合同会議 ：3回出席（WEB1回、参集開催2回） ②地域支援研修会：3回出席（WEB開催） ・区市町村高次脳機能障害者相談支援員連絡会2回出席（1回はWEB開催、2回目は参集開催にて現地参加） ・市内で就労継続支援A型、B型の事業所「ワークセンターけやき」にて講師（7月28日「高次脳機能障害とは」、9月22日「高次脳機能障害のある方の就労支援 ～具体的な支援の手がかりをどう見つけるか」対象は職員）
25	三鷹市	三鷹市 健康福祉部 障がい者支援課 基幹相談支援センター担当	2	保健師 社会福祉士 精神保健福祉士	市内在住の高次脳機能障がい者及びその家族・支援者等を対象に、以下の事業を実施 ①年間を通して基幹相談支援センターにおいて相談支援を実施。必要に応じて受診や事業所見学の同行等を行い、連携を促進。 ②専門医、療法士による個別相談会（土曜日開催 5回／年） ③三鷹市ホームページに高次脳機能障がい相談会の案内を掲載するとともに同障がいについて周知。	○	○	○		○	○	○			○			2	①8月26日「高次脳機能障がいのある方への意思決定支援について」（事例検討、グループワーク） ②令和8年1月19日 講義：「今の自分を生きる～忘れる悲しみから覚える楽しみへ～」	35人	289件	
26	青梅市	青梅市障がい者サポートセンター	2	保健師 看護師	1. 相談支援 相談窓口は、市の障がい者福祉課と障がい者サポートセンターが実施。医療機関や在宅サービス事業所と連携 2. 認知グループ訓練の実施（OKG） 月2回(OT、保健師、看護師等)、 参加者の状況に応じて、随時電話等で健康面や課題の進捗状況把握。臨床美術（アートセラピー）を取り入れ五感の刺激を試みた。 3. 関係機関との連携 自立生活の支援のため、医療関係者、家族会、居宅介護支援事業所および障害福祉サービス施設等と事例検討や連絡調整など実施。 4.専門相談の実施 利用者の中から相談・課題ごとに、西多摩高次脳機能障害支援センターと合同で面談を実施 5.広報、普及啓発 12月の障害者週間の折に、市役所ロビーで、OKG活動のパネルやパンフレット等による高次脳機能障害支援活動の紹介。OKGメンバーの作品展示を実施。	○	○		○	○	○	○	○		○		年金事務所／国立障害者リハビリテーションセンター自立支援局／高次脳機能障害者支援ホー	3	「わかくさ」通所者の生活支援など	実46件延べ471件	延べ405件	1. 家族会支援 家族会運営の就労支援グループ「アトリエなんてん」には、新規紹介や利用中の当事者、家族等の相談を受けるなど、当事者の健康状態を見守り。家族会主催の総会や交流会に参加し、当事者や、家族間の相談などを実施。家族会、西多摩リハビリテーション共催「作家 子供の頃父が高次脳機能障害になる」のPR活動を実施。 2.「わかくさ」利用への支援：利用を紹介し、体験通所に同行。動機づけ支援を実施するとともに定着支援を実施。必要期間まで継続的利用ができるよう適宜面接を実施。 3. 就労にむけての支援 就労移行等を利用するために同行訪問や連絡調整を実施。 「わかくさ」と認知グループ訓練OKGを連動させ就労への動機づけを実施。障害者就労支援センターと連携。 4.西多摩高次脳機能障害支援センターと合同で専門相談を実施

※ 本資料は、東京都に提出された令和7年度高次脳機能障害者支援促進事業実績報告書の記載内容をまとめたものです。
注1） 相談状況は、各自治体の報告書の記載どおりに掲載

◆令和7年度区市町村高次脳機能障害者支援促進事業実施状況一覧◆

区市町村		実施機関	支援員		支援事業の実施状況	連絡会等構成機関一覧												連絡会開催状況		相談状況注1)		その他支援普及事業
			支援員数	職種		医療機関	行政機関	基幹相談支援センター	保健所・保健センター	相談支援事業所	就労支援機関	通所等施設関係	当事者・家族会	高齢・介護・看護	児童・教育機関	社会福祉協議会	その他	開催回数	内容	直接相談（実人数）	電話相談（延べ件数）	
27	府中市	社会福祉法人あけぼの福祉会 地域生活支援センターあけぼの	1	作業療法士	・学習会（年1回）、つながろう会（年2回）、家族さろんやさろんdeぼ～（年6回）を各々企画し実施。 ・相談支援：通院同行など医療機関との連携を重視。 ・その他：医療機関から復職や就労支援の依頼が来ることも多かった。	○	○			○	○	○	○	○		○（地域権利擁護センター）	企業、配食サービス等／高次脳機能障害者支援ホーム	2	<つながろう会>関係機関連絡会 ・8月 27 日（水）13：30-15：00 いこい見学 参加者：17名 ・ 11月 27 日（木）13：30-16：00 事例検討会 参加者：17名	62人	来所64人同行20人訪問35人電話145人メール・FAX11人カンファ119人関係機関466人他1人合計861人	・さろんの開催 家族さろん（家族が集まって話し合える場）：全6回 さろんdeぼ～の（当事者が集まって生活に活かせるリハビリをする場）：全6回 さろんdeぼ～の仕事版（当事者が集まって就労に関する話をする場）：1回 ・学習会の開催（2025年7月23日） 「府中失語症友の会　いろりの会の紹介」参加者27名 ・出張講座（2025年8月28日） 「居宅介護支援事業所（きんもくせい）のケアマネージャー対象に高次脳機能障害の基礎知識の講座を開講」参加者6名
28	調布市	社会福祉法人 調布市社会福祉協議会	3	社会福祉士	・相談支援 ・普及啓発・理解促進・支援者養成等のための講演会実施 ・関係機関連絡会開催 ・北多摩南部医療圏関係機関連絡会への参加 ・広報紙等による事業PR	○	○				○	○	○	○		○	グループホーム　アクア	3	・調布市高次脳障害者支援促進事業計画や進捗の確認、共有 ・各機関の高次脳機能障害者支援促進事業の動きについて ・困難ケース事例等についてグループワーク	69人	411件	・支援者向け講習会「高次脳機能障がいのある方を支援するための基礎知識」（7月22日）　参加者：36人 内容：主に初任者に向けた講習会 ・高次脳機能障がい事例検討会（9月25日）参加者：25人 内容：グループに分かれ事例検討・意見交換 ・支援者向け講習会「高次脳機能障がいのある方の就労・復職に向けた支援について考えよう」（11月14日）参加者：27人 内容：当事者講演、医療機関での職業評価、就労移行支援事業所の役割と支援内容の報告と発表者3者とファシリテーターのトークセッション ・支援者向け講習会「日頃の支援での困り事や悩み事を多職種間で忌憚なく話し合う座談会」（令和8年1月27日）参加者：21人 内容：高次脳機能障がい者の支援を通して感じている難しさや困り事等をグループごとに話し合い共有
29	町田市	社会福祉法人 まちだ育成会 ひかり相談	1	相談員	1. 相談支援：電話、面接、訪問、関係者会議 2. 当事者・家族の支援：①当事者、家族のグルーピングを実施。（13回/年※年度末の振り返りを含む② イベント：夏祭り(地域活動)、年末パーティー（調理活動）③ひかりサロンニュースの発行（12回/年） 3. 関係機関との連携①町田市の医療と福祉の関係機関等（32機関）：会議方式で情報交換等実施（3回/年）。②南多摩協力施設連絡会への参加（12 回/年） 4. 研修会及び講演会の開催：①当事者・家族・支援者・一般市民を対象に普及啓発②関係機関の高次脳機能障がいに関する知識・スキル向上のための研修	○	○		○		○	○	○	○			いちごテラス（グループホーム・ショートステイ）	3	・各機関の業務内容の説明 ・情報提供・共有 ・事例検討	38名	53名	・福祉講座の開催：1回目（10月4日）「後天性脳損傷による高次脳機能障害者のアンガーマネジメント～心理医学的なこころの持ちようと周囲の支え方～」、2回目（令和8年2月6日）「障がいのある人を軸に地域づくりを」＊支援者向け講座＊講師） ・当事者活動：「ひかりサロン」年13回開催予定 ・南多摩圏域協力施設等連絡会：WEB会議毎月1回参加
30	小金井市	小金井市障害者地域自立生活支援センター	1	保健師	1.相談支援 ・当事者、家族等からの個別面談・助言・情報提供 ・必要に応じた支援計画を作成 2.関係機関との連携 3.社会資源の把握・開拓 4.広報・普及啓発 ・市民への広報 ・高次脳機能障害に関する理解促進のための研修会等の企画・実施	○	○			○	○	○	○	○		○		2	第1回（8月28日）講演会「高次脳機能障害のある方とご家族の心のケアについて」 第2回（令和8年2月20日）①講演「当院の北多摩南部圏域における高次脳機能障害者支援事業」②各関係機関自己紹介・活動報告・今後の取り組み検討	18件	99件	・ピア相談（8回、相談員懇談会1回） ・北多摩南部圏域6市合同会議参加（11月5日，令和8年1月28日） 北多摩南部圏域研修会参加（9月5日,12月19日,令和8年3月6日） ・区市町村高次脳機能障害者支援促進事業支援員連絡会参加（6月26日、12月18日） ・いちごえ会（当事者・家族会）交流会参加（令和8年1月25日）

※　本資料は、東京都に提出された令和7年度高次脳機能障害者支援促進事業実績報告書の記載内容をまとめたものです。
注1）　相談状況は、各自治体の報告書の記載どおりに掲載

◆令和7年度区市町村高次脳機能障害者支援促進事業実施状況一覧◆

区市町村		実施機関	支援員		支援事業の実施状況	連絡会等構成機関一覧												連絡会開催状況		相談状況注1)		その他支援普及事業
			支援員数	職種		医療機関	行政機関	基幹相談支援センター	保健所・保健センター	相談支援事業所	就労支援機関	通所等施設関係	当事者・家族会	高齢・介護・看護	児童・教育機関	社会福祉協議会	その他	開催回数	内容	直接相談（実人数）	電話相談（延べ件数）	
31	小平市	小平市 健康福祉部 障がい者支援課	5	保健師 （市職員・常勤）	保健師が相談窓口として、医療機関や障害福祉サービス事業所等と連携しながら在宅生活を支援。 北多摩北部地域高次脳機能障害者支援ネットワーク協議会（圏域5市）では、総会、運営委員会、事例検討会に出席、関係機関と連携。 令和8年2月に開催した市民交流事業は当日会場と後日オンデマンド配信。運営委員として、協議会事務局に協力し実施。 市内高次脳機能障がい者支援担当者連絡会を2回（1回目は主に情報共有、2回目は病院に所属している作業療法士による話題提供および市内事業所の意見交換を実施）	○	○			○	○	○						8	北多摩北部地域高次脳機能障害者支援ネットワーク協議会 5月：第16回総会開催 6月：第1回運営委員会　第1回市内連絡会 7月：第2回運営委員会 10月：協議会・事例検討会（2事例をグループで検討） 11月：第2回市内連絡会 12月：区市町村高次脳機能障害者相談支援員連絡会参加 令和8年2月：市民交流事業（会場、オンデマンド） 3月：第3回運営委員会	面接2件／訪問3件	電話12件／関係機関連絡40件	
32	日野市	日野市 高次脳機能障害者支援センターつくし	1	社会福祉士	(1)相談支援 ・新規相談23件　実人数37人 (2)関係機関等との連携 ・カンファレンス37回 (3)社会資源の把握・開発 ・障害福祉サービスや医療機関など、これまでつながりのなかった機関との連携 (4)広報・普及啓発 ・高次脳機能障害者の症状や社会復帰、支援機関と相談窓口の紹介を市役所1Fパネル展示 ・高次脳機能障害者支援者と意見交換・情報交換会	○	○		○	○	○	○		○				6	日野市障害福祉課・つくし定例会（業務連絡会）4回 日野市高次脳機能障害者支援・関係機関連絡会2回 第1回（7月24日）「認知症と高次脳機能障害者の違いについて」参加者：88名 第2回（令和8年3月2日）高次脳機能障害者支援者と当事者にて、（日頃つながりのある機関で）参加者：18名	37人（当事者16人、ご家族等21人）	1040件	・施設見学等同行支援　計65回 ・各種の高次脳機能障害関連の研修会・連絡会へ参加 ・マルシェいなぎ「いなぎ高次脳機能障害みんなの集い」会場参加し、当事者・家族・支援者と交流 ・高次脳機能障害者デイサービスなのはな、運営支援サポート ・高次脳機能障害者と家族の会かしのきのひの参加 ・メダカフェ7周年イベント参加 ・関係機関施設等へ見学を行い情報収集 ・東京都心身障害者福祉センターの研修会等に参加
33	東村山市	東村山市 健康福祉部 障害支援課	2	保健師 事務員	・北多摩北部地域高次脳機能障害者支援ネットワーク協議会の令和7年度事務局総会（5月） ・北多摩北部市民交流事業（講演会）の開催（令和8年2月） ・担当ケースワーカーと連携し、電話相談、面接相談、訪問相談を実施。 ・関係機関との連携のための情報共有やケース会議は67件 ・「高次脳機能障害者支援促進事業連携会議」年1回開催		○	○		○	○	○						1	・高次脳機能障害者支援の活動報告、実際の相談内容等を報告。 ・各関係機関より情報提供・情報交換 ・高次脳機能障害者支援リーフレットについて意見交換を行い最新版に更新。高次脳機能障害のある方のケース1事例を提供し事例検討会を実施 ・高次脳機能障害のある方に対して各事業所で工夫している支援などについて、意見交換。 ・高次脳機能障害のある方の社会資源について情報共有。	47件	43件	・地域の関係機関に高次脳支援促進事業を周知し、当事者・家族・関係機関からの相談を実施 ・市内の包括支援センターや障害福祉サービスを提供している事業所等に、当市作成のリーフレットを配布 ・高次脳機能障害の方が入所している施設に定期的に電話や訪問を実施 ・都や他市で実施された高次脳機能障害者の支援等の研修会に積極的に参加し、係内で情報共有 ・市内の高次脳機能障害のある方を支援している関係機関に必要時訪問し、事業者や利用者と対話を実施 ・都内の家族会の活動について情報収集し、支援機関や対象者に情報を周知 ・高次脳機能障害者支援関係機関連携会議を年に1回（令和8年3月）開催 ・令和8年2月に、高次脳機能障害者支援ネットワーク協議会の市民交流事業で講演会を実施
34	国分寺市	社会福祉法人 万葉の里　国分寺市障害者センター内 地域活動支援センターつばさ	2	相談支援専門員相談支援員	1. 相談支援 必要な情報（医療機関、地域資源、制度、福祉サービス、就労、生活技術）や障害理解についての情報提供を実施 2. 関係機関との連携 アンケート結果を基に援助職へ向けた関係機関連絡会を3回開催 3 .社会資源の把握及び開拓 国分寺市と近隣他市の高次脳機能障害者支援を実施する事業所や医療機関へ訪問し、ネットワーク作りを実施 4 .広報及び普及啓発 国分寺市における支援拠点機関として、生活支援に必要な情報の提供及び、普及啓発活動を実施。当センター発行の「高次脳機能障害パンフレット」を持参し、高次脳機能障害についての普及啓発、令和8年度の改訂版発行に向けて準備。日本脳損傷者ケアリング・コミュニティ学会全国大会（広島県開催）に参加。国分寺市内だけでなく、東京都～全国の普及啓発事業の実態把握。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		3	第1回令和7年6月19 日（木）14時～16時 講演：「高次脳機能障害の基礎理解と対応～体験を通して理解してみよう～」参加者：13名（会場）／30名（YouTube配信） 第2回令和7年12月6日（土）14時～16時 トークセッション：「高次脳機能障害者の家族に必要な支援」 参加者：16名 第3回令和8年3月19日（木）14時～16時 ①講演：「回復期リハビリテーション病院の役割と現状から地域生活への移行を考える」 参加者：20名	11人	850件	【協力】 ・高次脳機能障害者支援普及事業「北多摩西部医療圏　高次脳機能障害者支援ガイド」 発行：村山医療センター 掲載：社会福祉法人万里の里　国分寺市障害者センター 【参加】 ・第14回日本脳損傷者ケアリング・コミュニティ学会広島全国大会 令和7年6月21日（土）・22日（日） ・令和7年度　高次脳機能障害支援養成研修（基礎研修・実践研修）終了
35	国立市	国立市健康福祉部 しょうがいしゃ支援課支援係	1	精神保健福祉士 言語聴覚士	(1) 高次脳機能障害者の相談支援 (2) 家族会への出席 (3)市内外通所施設の視察・連携強化 (4)講演会等の企画・運営 (5)高次脳機能障害者のためのサロン事業 毎週水曜日　全49回（令和7年4月1日～令和8年3月31日）実施 外出の機会の乏しい方およびしょうがい福祉サービスにつながっていない方の居場所づくりや、自立の促進を目的として、平成26年度より事業を開始（プログラム内容：ストレッチ・ゲーム・音楽・作品制作等）	○				○	○	○	○				5	地域の事業所等と連絡会、関係者会議（オンライン会議を含む）等を行った。	67人	318件	【開催・企画実績】 (1)専門職向け研修会「女性たちの高次脳機能障害」 ・日時：令和8年2月13日（金）18時00分～19時45分 ・内容：講演、体験談や実例報告 ・概要：家事、子育て、就労、介護、などどのように向き合ってきたのか。40代50代60代の女性の当事者のみなさんに集まっていただき、本人の戸惑いや苦悩を共有し、本人や家族にとって、支えられる支援に必要なものは何かを考える。 【参加実績】 高次脳機能しょうがいに関する研修会等への参加：3回

※　本資料は、東京都に提出された令和7年度高次脳機能障害者支援促進事業実績報告書の記載内容をまとめたものです。
注1）　相談状況は、各自治体の報告書の記載どおりに掲載

◆令和7年度区市町村高次脳機能障害者支援促進事業実施状況一覧◆

区市町村		実施機関	支援員		支援事業の実施状況	連絡会等構成機関一覧												連絡会開催状況		相談状況注1）		その他支援普及事業
			支援員数	職種		医療機関	行政機関	基幹相談支援センター	保健所・保健センター	相談支援事業所	就労支援機関	通所等施設関係	当事者・家族会	高齢・介護・看護	児童・教育機関	社会福祉協議会	その他	開催回数	内容	直接相談（実人数）	電話相談（延べ件数）	
36	福生市	福生市役所 福祉保健部 障害福祉課 相談支援係	4	精神保健福祉士 作業療法士	【相談支援】社会福祉士・精神保健福祉士：月曜日から金曜日9: 00から12: 00／13: 00 から16: 00 作業療法士：第2火曜日 13: 30から17: 00 【関係機関との連携】毎月第2火曜日に関係機関との連絡会を設け、情報共有。 【社会資源の把握・開拓】研修会及び連絡会を実施し、サービス内容の把握や情報共有。 【当事者・家族の集まり】令和8年2月に家族会を実施。 【広報・普及啓発】広報等で、毎月第2火曜日の高次脳機能障害専門相談の周知と相談支援窓口を案内。	○						○						12	・ケース対応検討 ・情報共有 ・近隣病院との連携について ・今後の方向性について	18件	209件	・広報、ホームページ等での周知
37	狛江市	狛江市福祉保健部福祉相談課 狛江市障がい者基幹相談支援センター	2	社会福祉士 精神保健福祉士	中核的な医療機関である東京慈恵会医科大学西部医療センターリハビリテーション科と協働し、「高次脳機能障がい相談茶話会“トーク&トーク”」を開催 参加者からの相談に適宜応じ、適切な助言や情報提供を行い、関係機関へ繋ぐ等の連携を図り、支援体制を構築	○													開催していない	実人数3人 延べ人数7人	本人15人 家族4人 支援者5人	高次脳機能障がい茶話会“トーク&トーク”（4回実施） ・症状や治療、リハビリ等への理解を深めた。 ・専門職から公的なサービス案内や治療等の専門的な説明や助言を行った。 ・障がい特性による生活上の困りごとについて、専門職の助言以外に、当事者間で体験や対処方法が話し合われ、相互理解が深まり、解決への端緒となった。 ・家族の気持ちも共有でき、不安や心配が軽減 ・繰り返し参加される方には外出の機会となるとともに、交流の場となっている。
38	清瀬市	清瀬市 福祉子ども部 障害福祉課	1	社会福祉士 精神保健福祉士	・北多摩北部地域高次脳機能障害者支援ネットワーク協議会への参加 ・高次脳機能障害者等専門相談事業 ・高次脳機能障害等を理由にする自立支援医療申請時の相談	○	○		○			○						11	・地域生活を再構築するプロセスや課題について当事者の体験を聞く市民交流事業を実施 ・各市から1事例を提出し、多職種で検討することを目的に、事例検討会を実施	1人	2人	
39	武蔵村山市	武蔵村山市 健康福祉部 障害福祉課	1	保健師	① 相談支援：相談窓口を設置し、随時相談に対応。ピアカウンセリング（月1回）の実施 ② 関係機関との連携：家族会開催時（月1回）に関係機関も出席。 ③ 社会資源の把握・開拓：村山医療センター（高次脳機能障害リハビリテーション中核医療機関）や武蔵村山病院と協力し、資源の把握・開拓 ④ 広報・普及啓発：講演会の開催（年1回）	○	○						○			○		12	情報交換、情報共有	1人	6人	・案内があった講演会や交流会などのチラシ掲示や必要とする方への情報提供 ・市主催の講演会の開催
40	多摩市	社会福祉法人 多摩市社会福祉協議会	1	社会福祉士	① 相談支援：電話、窓口等で随時実施（計画相談8名、一般相談16名） ・「パートナー・家族のための個別相談会」の個別相談実施(全10回) ② 関係機関との連携 ・関係機関連絡会の開催（2回） ・市民向け学習会、勉強会・家族会への定例会参加（隔月） ・区市町村高次脳機能障害者相談支援員連絡会への参加(6月) ・施設協力会議への参加・南多摩圏域内連絡会への参加(9月）開催 ・多摩市障害福祉課との連携 ③ 社会資源の把握・開拓 社会資源の把握・開拓のため、市内外の障害福祉サービス事業所等へ訪問し、情報収集。地域活動支援センターで当事者支援 ④広報・普及啓発 ・社協広報やホームページを通じた事業の周知	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	グループホーム・大学	2	第1回連絡会（令和7年7月） ・「障がい者地域活動支援センターあんど」の支援について ・各事業所の取り組み 第2回連絡会（令和8年3月） ・今年度の事業報告　次年度の事業スケジュール ・各事業所の取り組み	114人 延べ 152件	198人 延べ 657件	①広報普及 ・図書コーナーでの関連図書の展示・閲覧 ・広報紙、関係機関支援ハンドブック等への掲載・配布 ②高次脳機能障がいサポーターの育成、クルーブ活動での実践

※　本資料は、東京都に提出された令和7年度高次脳機能障害者支援促進事業実績報告書の記載内容をまとめたものです。
注1）　相談状況は、各自治体の報告書の記載どおりに掲載

◆令和7年度区市町村高次脳機能障害者支援促進事業実施状況一覧◆

区市町村		実施機関	支援員		支援事業の実施状況	連絡会等構成機関一覧												連絡会開催状況		相談状況 注1)		その他支援普及事業
			支援員数	職種		医療機関	行政機関	基幹相談支援センター	保健所・保健センター	相談支援事業所	就労支援機関	通所等施設関係	当事者・家族会	高齢・介護・看護	児童・教育機関	社会福祉協議会	その他	開催回数	内容	直接相談（実人数）	電話相談（延べ件数）	
41	稲城市	稲城市障害者総合相談センター マルシェいなぎ	1	社会福祉士 精神保健福祉士	1. 相談支援（随時） 2. 当事者、家族の集いの開催（5月～令和8年3月まで計10回実施） 3 .広報・普及啓発 ・広報誌の発行 ・障害に関する勉強会の開催（令和8年3月7日「脳も心も体ものびをしよう～呼吸法とコグニサイズ」と題し、市民・支援者支援機関対象とする研修を実施） 4. 社会資源の把握・開拓（南多摩高次脳機能障害支援センターと協力し、稲城市内で高次脳機能障害対応可能事業所一覧を精査し、支援マップを更新。） 5. 障害者就労支援センターとの連携（同法人が事業者） 6. 近隣市病院・近隣市高次脳機能障害支援促進事業所との連絡会（月1回） 7.稲城市高次脳機能障害支援者連絡会開催（年2回）	○	○			○	○			○		○		2	9月24日 ・状況報告　マルシェいなぎ ・『高次脳機能障害と認知症」 ・高次脳機能障害支援促進事業・情報提供 令和8年3月23日 ・『大規模災害の実際～D-WATの活動から』 社福）正夢の会相談部長 ・高次脳機能障害者の防災対策情報 ・高次脳機能障害者が災害時困ることについての検討会	33件（10人）	10件（29件）	・南多摩高次脳機能障害支援センター協力施設会議参加（10回） ・南多摩圏域内高次脳機能障害者支援連絡会（9月26日） ・区市町村高次脳機能障害者支援促進事業支援員連絡会（6月26日） ・日野市高次脳機能障害者支援者勉強会（7月24日） ・町田市高次脳機能就労支援フォーラム（令和8年3月26日） 南多摩高次脳機能障害支援センター協力施設会議では、各市や団体の近況報告と情報共有、事例検討会を実施。南多摩圏域内及び市区町村の高次脳機能障害支援連絡会にて、高次脳機能障害に関わる最新の情報共有、事例検討など実施。
42	羽村市	羽村市福祉健康部障害福祉課	2	保健師 作業療法士	① 高次脳機能障害者及びその家族等に対して相談支援を実施。 ② 医療機関、就労支援センター、就労移行支援事業所、地域活動支援センター等の関係機関と連携															7件	84件	・就労継続支援B型作業所、就労移行支援事業所と情報共有
43	あきる野市	あきる野市健康福祉部障がい者支援課	1	一般事務	1. 啓発ティッシュの製作 市内公共機関等に配置し、広く市民に啓発 2. 周知ポスターの製作 市内公共機関等に掲示 3. 高次脳機能障害相談への対応	○		○			○		○						必要に応じ、各機関と連携を図った。 ケース対応の検討、状況報告	5人	25件	
44	西東京市	西東京市 保谷障害者福祉センター	1	相談支援専門員	・高次脳機能障害の市民、家族向けの電話相談を週5日 ・市民向けに高次脳機能障害講演会を実施。市民や当事者家族、関係機関職員等24名が参加 ・センター通所者の利用者・家族の相談会（東京病院リハビリテーション科新藤医師）を9月に実施し、当事者1名、家族1名が参加	○					○							グループホーム	2	・講演会「高次脳機能障害を知る～高次脳機能障害との向き合い方～」7月 ・高次脳機能障害相談会開催　9月	46人	49件	・北多摩北部地域高次脳機能障害者支援ネットワーク協議会　総会出席　5月 ・区市町村高次脳機能障害者支援促進事業支援員連絡会出席　6月/12月 ・北多摩北部地域高次脳機能障害者支援ネットワーク協議会　事例検討会出席　10月 ・国立病院機構・東京病院研修会出席　7月/9月 ・北多摩北部地域高次脳機能障害者支援ネットワーク協議会　市民交流事業　令和8年2月 ・西東京高次脳当事者会　当事者主催の茶話会等を側面支援（計12回） ・高次脳家族会（高次脳カフェ絆）参加
45	奥多摩町	奥多摩町 福祉保健課 福祉係	1	保健師	年48回（月4回）の高次脳機能障害の相談窓口を開設。 広報にて、毎月の相談窓口の周知と高次脳機能障害についての周知をし、必要な方が相談しやすい状況をつくる。相談者の状況に応じて、相談日以外にも対応。	○				○	○									1件	1件	

※　本資料は、東京都に提出された令和7年度高次脳機能障害者支援促進事業実績報告書の記載内容をまとめたものです。
注1）　相談状況は、各自治体の報告書の記載どおりに掲載